

## 確 認 書

奈良県（以下「甲」という。）と奈良市（以下「乙」という。）は、近鉄奈良駅周辺のまちづくりに関して、令和2年3月31日までに進めてきた甲と乙の協議結果について、以下のとおり確認する。

（まちづくりの基本方針）

第1条 甲及び乙は、緊密に連携、協力し、近鉄奈良駅周辺エリアにおいて、景観・環境に配慮したまちづくりを進めるものとする。

（まちづくりの範囲）

第2条 本確認書で対象とする範囲は、別に添付する平面図（以下「平面図」という。）に示す着色範囲とする。平面図で甲が担当する範囲を赤色着色部分、乙が担当する範囲を黄色着色部分とする。

（土地の管理）

第3条 平面図に示す赤色着色部分の土地の管理については、以下のとおりとする。

- （1）乙が所有し、かつ、甲が検討・整備を進めるまちづくりに供する土地の管理を甲へ移管する。
- （2）乙が管理し、かつ、甲が検討・整備を進めるまちづくりに供する土地（前号の土地を除く。）の管理を甲へ移管することに関し、乙は甲と土地所有者との協議に協力する。

（勉強会の開催）

第4条 地元及び関係機関の理解と協力を得てまちづくりを進めるため、甲が担当するまちづくりの範囲について、関係者で構成する勉強会を開催するものとし、乙も参画するものとする。

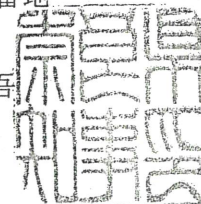
以上、本確認の証として本書2通を作成し、甲乙各自記名押印のうえ、各1通を保有する。

令和2年8月26日

（甲）奈良県奈良市登大路町30番地

奈良県

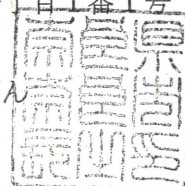
奈良県知事 荒井 正吾



（乙）奈良県奈良市二条大路南一丁目1番1号

奈良市

奈良市長 仲川 げん





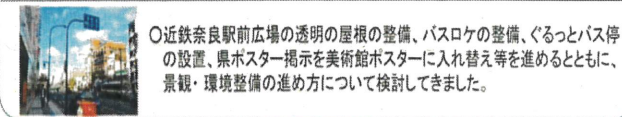
## Ⅱ 賑わう「都」をつくる 4 魅力ある観光地づくり (13) 大宮通り・近鉄奈良駅周辺の景観・環境整備

### ここまで良くなりました

大宮通りの景観改善に努めてきた結果、花壇やイルミネーションが整備され、おもてなし空間の創出につながりました。これらの情報や県の取組などを周辺住民のご理解を得てさらなる充実を図るため、大宮通りジャーナルを発行しました。



観光地奈良公園の玄関口にもかかわらず、不便で雰囲気が悪いなどの評判を改善するため、交通事業者や地元商店街、自治会等との勉強会を重ね、近鉄奈良駅前広場整備に向けて、広場の基本計画をまとめました。



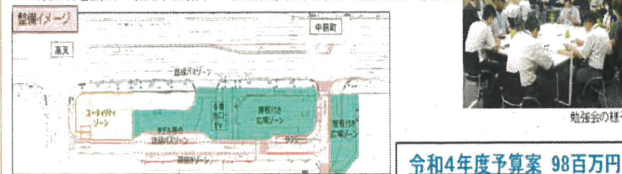
### もっと良くするために

大宮通りの景観・環境整備を引き続き進めます。(63百万円)



近鉄奈良駅前の景観・環境整備を地元商店街・地元自治会の人々と協力して、引き続き進めます。(35百万円)

- 駅前にふさわしい空間整備のための広場の基本設計・建物の基本計画を実施
- 交通事業者や地元商店街、自治会等との勉強会を開催
- ・ 有識者を講師に招き、目指すべき近鉄奈良駅周辺の空間設計を推進



令和4年度予算案 98百万円

R4予算案 98,000千円

### 1. 奈良の玄関口である大宮通りの景観整備

(63,000千円)

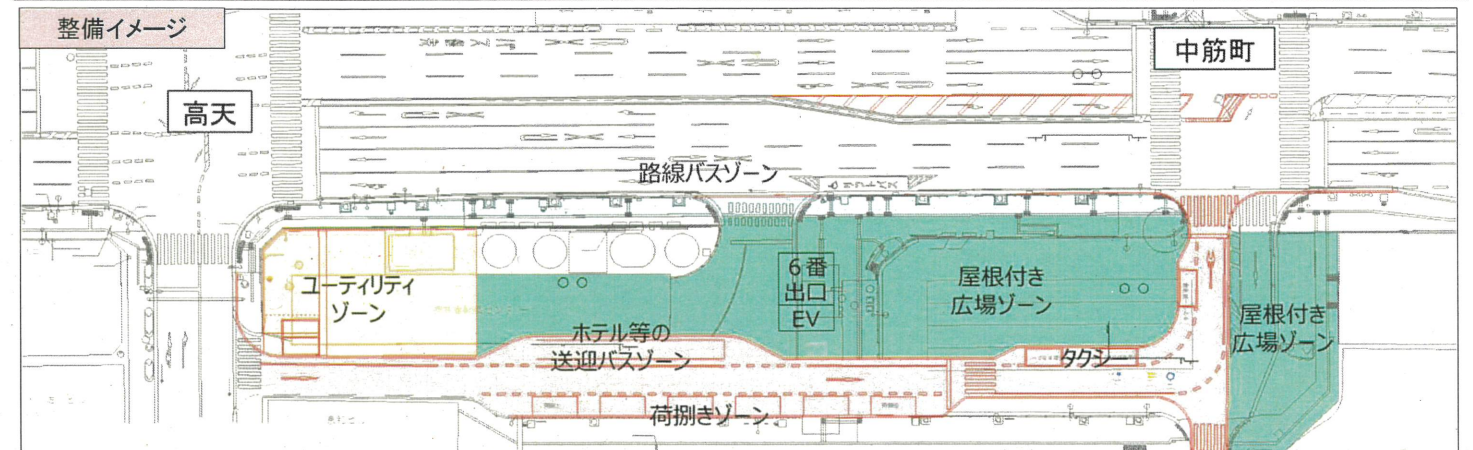
- ① 植栽や花壇整備等により、花と緑で来訪者をもてなす道路空間を創出するとともに、街路樹等にイルミネーションを設置

主な取組	1 イルミネーションの充実	2 歓迎文字の工夫	3 地域の方々との協働
(西方寺の白壁のライトアップ)	(街路樹イルミネーションの光量増量)	(旧知事公舎の築地塀のライトアップ)	(JR高架橋のウエルカムサインの充実)
			(協働作業の様子)

### 2. 近鉄奈良駅周辺の環境整備

(35,000千円)

- ② 駅前にふさわしい空間整備のための広場の基本設計の実施・建物の基本計画の策定  
③ 交通事業者や地元商店街、自治会等との勉強会を開催  
・ 有識者を講師に招き、目指すべき近鉄奈良駅周辺の環境や空間設計の検討



<問い合わせ先>

- ① 県土マネジメント部 道路保全課 辻井主幹(内線4152)  
②③ 地域デザイン推進局 奈良公園室 丸山室長補佐(内線4334)



